

《住民と議会》

ふるさと納税の目的

・菜の花エコプロジェクト等の環境施策に関する事業

・白砂青松等の地域特性を活かした観光・スポーツ施策に関する事業

・未来を担う子どもを育む施策に関する事業

・にぎわいと活力あるまちづくり施策に関する事業

・その他目的達成のために町長が必要と認める事業

Q：グラウンドゴルフ場の整備推進を望む。

A：要望として受ける。

Q：議会基本条例に基づくと、議会は説明責任を果たすべきだが、住民と語る会の会場を減らした経緯を示せ。また、参加者が少ないという理由から開催場所を減らすのではなく、もっと住民に身近な会場で開催すべきである。

A：議会報告会など開かれた議会であるためにどうするか、また議会報告会を通じ情報発信し、要望を町へつなぐものであり、これまで会場によっては少人数であったため、地域の会合に合わせた方法で行った。

会場数については、要望があれば検討し、次年度に議会の中で協議していく。

議員を分けて開催するよりも、参加している議員の状況等を見てもらえるため全員参加している。

Q：町道（中持留く尾之鼻線）の伐採作業の確認をお願いしたい。

A：早急な対応をするよう担当課へつなげる。

担当課に聞いた結果、委託事業者において計画的に伐採をしており、今後、通行に支障がある箇所については、その度対処していく。

座談会の開催を望む。

Q：町長、課長による行政座談会の開催を望む。

A：本年度は菱田・中沖地区で開催しており、持留地区も行われる予定と聞いている。

担当課に聞いた結果、持留地区は、平成29年1月に予定しており、分館から参加の要請がされる計画である。

大丸

Q：今回の県知事選挙において、知事が変わったが町への影響はないか。

A：政策的には影響はないと考える。継続するものはこれからもやっていくように議会からも要望する。

Q：県の各地域への政策が見えないが、どのようなことをやっていくのか。

A：県政については注視している。

ていかなければならない。必要があれば4市5町の議員の会を通じて知事への提案をしていきたい。

Q：防災について、海岸沿いの住民にとっては、地震に対する津波対策など心配される。小規模な橋も含め避難時における橋の耐震性はどういうように取り組まれているか。

A：学校における耐震対策は現在されている。今年度は橋りょうにおける耐震調査が予算化してある。汐入川に架かる中尾橋や力二喰橋は耐震性はあるが、冠水により避難できないことも発生してくるので早めの避難が大切である。

Q：人口減少により限界集落から消滅集落へと危機感をいだいている。鹿兒島県は農業が基幹産業であるが、これ